

甲冑隊参上！客船見送り隊！

手作り甲冑隊参上！！いざ飛鳥Ⅱを盛大に見送らん！

事務局長の志村です。

いよいよ秋のイベントシーズンに突入しました。週末にはあちこちのイベント、例えば、横浜の「ベトナムフェア」や富山の「日本遺産サミット」などにお邪魔し、伊勢原の魅力をもっと多くの皆様にお伝えしようと、休日返上で奮闘しています。

さて、こうした中5月にお邪魔した際に要請された、横浜港大さん橋国際客船ターミナルでの「客船見送り隊」に、伊勢原市の誇る手作り甲冑隊の皆様が、道灌まつりのPR活動を兼ねて出陣しました。

今回お見送りした客船は日本の誇る『飛鳥Ⅱ』(50,142ト)で、大さん橋に紙製の甲冑を身にまとった武将の鬨の音が響き渡りました。



大さん橋二階の出入国ロビーで、飛鳥Ⅱの出港を待つ乗船客の皆様の前に初見参です。

法螺貝と太鼓の音が響き渡り、注目が一気に集まって、多くのカメラが向けられました。



出港時刻が近づいたため、屋上の見送りデッキ「クジラの背中」に移動しました。

ここでも大勢の見送り客の皆さんに囲まれて、写真撮影の嵐です。



今回初めて知ったのですが、出港の際に紙テープを交換するのは日本だけの風習だそうです。

飛鳥Ⅱは日本船なので5色のテープが投げられ、別れのムードが高まります。



17時になり、船上から出港を知らせる銅鑼の音が鳴り響きます。

甲冑隊も負けずに銅鑼と太鼓を大きく叩き、別れを惜しみます。

でも、今回の航海は明後日には横浜港へ戻るショートクルーズです。



飛鳥Ⅱの大きな船体は、テープを引きずりながら大さん橋を離れて行きましたが、甲冑隊は居合わせた外国人観光客に大人気で、記念写真をせがまれて丁寧に応じていました。